

目指す方向

長野県で活躍する人材の育成

現状・課題・強み・弱み等

(少子高齢化)

- ・ 生産年齢人口の減少による地域経済の停滞
- ・ 消防団などの地域活動を支える人材の不足
- ・ 年金をはじめとする社会保障費の増加
- ・ 空家の増加

(地域)

- ・ 合併が進まなかった。
- ・ 保健師が不足している地域がある。
- ・ 公共施設の老朽化

(若者)

- ・ 大学の選択肢が少ないため学生が県外へ流出している。
- ・ 働ける場所がない。働くことへの意欲低下

(その他)

- ・ 電力不足

目指す姿を実現するための取組・方策

(教育機関等における育成)

- ・ 4年制大学の 신설、長野県の特徴を生かした学科の創設
- ・ ものづくり体験、キャリア教育などを通じて児童生徒の働くことへの意欲を喚起
- ・ 手に職をつけるための職業訓練施設の充実

(働く現場における育成)

- ・ 観光などを含む産業振興による働く場所の提供
- ・ 技能振興、能力開発の支援
- ・ ワークライフバランスの実現
- ・ 技能五輪、アピリンピックの開催

(地域の力の強化)

- ・ 地域コミュニティの形成と連携
- ・ 地域防災体制の強化
- ・ 消防団協力事業所優遇制度の充実（減税など）

(その他)

- ・ 空家対策
- ・ 公共施設の耐震化
- ・ 特区による水力発電を進める。